

平成 27 年度 長伏小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

| | | | |
|-----|-----------------------|----|---------|
| 開催日 | 平成 27 年 11 月 18 日 (水) | 会場 | 中郷文化プラザ |
|-----|-----------------------|----|---------|

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

| 団体名 | | |
|-----------|----------------|--------------|
| 長伏町内会 | 松本町内会 | 民生委員・児童委員 |
| 保護司 | 中郷地区地域包括支援センター | 松本幼稚園 |
| 松本幼稚園 PTA | 長伏小学校 | 長伏小学校 PTA |
| 中郷西中学校 | 中郷西中学校 PTA | 中郷西中学校支援地域本部 |
| 松本子供会 | 第 18 分団 | 保健委員会 |

※当日参加者 20 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 中郷西中学校：11/21(土)教育講演会を開催。パントマイマーによる豊かな表情を学ぶ。毎朝 7:40～8:00 保護者による「あいさつ運動」を実施。保護者同士の絆を深めることを目的としている。地域の方々もご自由に参加ください。地域の祭事や運動会の企画・運営に、中学生を関わらせてほしい。
- 長伏小学校：11/20(金)学校地域連絡会を開催。町内会長、評議員に來校いただき、子どもの様子を見て、意見をいただく。
11/28(土)長伏祭り・PTA 主催バザー、12/5(土)廃品回収を実施。
- 長伏小学校地域支援本部：来年度より立ち上げる。スクールガードや読み聞かせ、草刈のボランティアの方を中心に只今準備中。草刈りや、児童と一緒に花壇の整備活動を行う予定。具体的な活動計画が決まったらお知らせするので、多くの方にご協力いただきたい。

＜会場アンケート＞

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

| 会場アンケートの結果 | |
|------------------------------|----|
| ①消防団員を増やすために地域でできることを始めてみよう！ | 7人 |
| ②子どもたちを犯罪から守る取り組みを実践しよう！ | 7人 |
| ③スポーツを通じた地域のきずなづくりに取り組もう！ | 4人 |
| ④その他 | 2人 |

※アンケートの結果、①と②に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①：「消防団員を増やすために地域でできることを始めてみよう！」

| 現状・課題 | 解決策 | 取り組みそうなこと（案） |
|--|--|---|
| <p>●消防団の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として18歳～45歳（45歳以上の延長は可） | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の良い所は、地元のこと（消火栓の位置など）をよく知っていること | |
| <p>●入団者が少ない、入団しても続かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8年間新入団員なし（松本地区） ・入団者はいるが、仕事、家庭の都合で続かない ・勤めている若い人は入団しない | <ul style="list-style-type: none"> ・女性も参加したらどうか？ ・高齢者も対象にしたらどうか？ ・消防団に入ったことをPRする | <p>●消防団のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団がイベントを開いて人材を集められないか ・イベントで子ども用の制服を用意して関心を高める |
| <p>●親の理解が低い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者のお宅に勧誘に行くと、親が入団を拒否する ・本人に会えない | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動を親子に見せる | |
| <p>●個人情報への壁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも誰が（若者が）どこにいるかわからない ・名簿がないので（若者を）発見できない | | <ul style="list-style-type: none"> ・管理をしっかりとした上で住民台帳を貸し出す（松本地区） |
| <p>●消防団のイメージが悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険が多い ・大変な時（非常時）に家庭にいない ・面倒くさい。時間がなくなる ・準公務員である。命にかかわる。訓練が必要 ・若者は消防団よりも遊び優先（個人主義） ・「人のため、社会のために役に立ちたい」と思う生徒の割合は現在の中学3年生は87% | <ul style="list-style-type: none"> ・心に響く働きかけ <p>●「德育」を受けた中学生が今後社会人になる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で德育（困っている人がいたら助ける）を受けた生徒が3年後に18歳、5年後に20歳になる ・中学校で消防署と消防団の違いを教え、「誰かがやらねば！」ということを教える ・家庭のルール確立 | <p>●学校の訓練に消防団が訪問する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の訓練に消防団が訪問 ・中学校の訓練に消防団が訪問 ・地元のヒーローに ・子どもへの啓発活動 |
| <p>●子ども同士のつながりが弱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の家を知らない ・親同士もつながりもない ・きずなが狭い | <p>●勧誘は人間関係がカギ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘ってくれた人が知人だと入団しやすい <p>●子どもたちのつながりを広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勧誘のパイプを小中学生の時に作る ・地域の行事への参加を積み重ねる | <p>●満たされない若者の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何かしたいけど、満足できていない」という満たされない若者を突いて消防団に勧誘 |

テーマ別会議②：「子どもたちを犯罪から守る取り組みを実践しよう！」

| 現状・課題 | 取り組みそうなこと（案） | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・下校時刻は定められない ・下校時刻が学校により違う ・広報無線がたより | <ul style="list-style-type: none"> ・下校時刻を知らせる放送やメールで確認する ・帰る時間の放送を頼りにする | <ul style="list-style-type: none"> ●登下校時に子どもたちが班を作る ・登校時は上級生が下級生を連れていく |
| <ul style="list-style-type: none"> ●スクールガードが人手不足 ・ボランティアが活躍中 ・やりがい・生きがいになる ・スクールガードは学校の周辺だけ ・家の周りだけでも良いのでは ・子どもがいないので情報が入ってこない ⇒地域の情報交換の場が欲しい ・(中学校) 学校支援地域本部防犯部 10 人車でパトロール実施 ・登校時に学校まで同行 | <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの見守りの輪を広げる ・土地・地域に詳しい人の協力（自治会・各組へお願いする） ・参加する保護者のすそ野を広げる ・下校時、家の前で見守る（あいさつ運動の一部） ・子育て中の親と幼稚園生の散歩で見守る ・高齢者が散歩で見守る、学校にお迎え？（強制でない） ・地域のひとと交流を深めながら 1 人ずつでも話し合って実践したい。ペアを組んでやったら楽しいかも ・普段からの見守りをする（公園等） ・散歩で腕章や帽子をつけてもらう | <ul style="list-style-type: none"> ●日頃のあいさつ、顔見知りになる ・顔見知りの関係を作る。あいさつ・地域行事 ・これからもあいさつを積極的にしていきたい ・散歩中のあいさつ&声かけ ・遊ぶ子どもをちょっと意識する ・顔見知り、名前を覚えるようになる ●学校支援地域本部に活躍してもらおう ・支援の中に防犯部を作ってはどうか ・防犯パトロールを地域支援本部にお願いする ・子ども会は行事が多いので、違う人に頼む |
| <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの中の近道をする子がいる ・通学路を離れると危険 ・親に注意、子どもにも | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>自分の命を自分で守る意識</u> ・自分の身は自分で守る教育（防犯教育） ・通学路の厳守化 | <ul style="list-style-type: none"> ●学校支援地域本部に活躍してもらおう ・支援の中に防犯部を作ってはどうか ・防犯パトロールを地域支援本部にお願いする ・子ども会は行事が多いので、違う人に頼む ・通学路に外灯を設置 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●かけこみ 110 番がわかりにくい ・かけこみ 110 番の担当が不明確（警察？ 学校？） ・かけこみ 110 番を父兄も子どもも知らない（場所もわかりにくい） ・かけこみ 110 番看板目立たない | <ul style="list-style-type: none"> ●かけこみ 110 番の充実・周知 ・集団下校時に教えたり、確認したりする ・かけこみ 110 番の看板を見やすくデザイン変更を ・かけこみ 110 番の場所（家）を確認させる | <ul style="list-style-type: none"> ●かけこみ 110 番を確認する ・親子で通学路上の 110 番の確認 ・PTA から保護者へ周知してもらおう ・買い物・散歩の中で教えていく ・子ども向けにゲームの要素を取り入れる（110 番場所探しゲーム、梅名ハロウィンで 110 番めぐり、スタンプラリーなど） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・老人会のカラオケ倶楽部で絆づくりをしている | | |

※下線部は、平成 27 年度第 1 回連絡会における意見

